

事例 10 国有林野のフィールドを活用した地域の林業従事者の育成支援 (九州森林管理局 長崎森林管理署)



- 長崎県東彼杵郡(ひがしそのぎぐん)東彼杵町(ひがしそのぎちょう) 遠目(とおめ) 国有林
- (左) 下刈り作業の実習の様子 (右) 伐倒作業の実習の様子

長崎森林管理署では、長崎県森林組合連合会が「緑の雇用」事業として実施している「フォレストワーカー研修」について支援を行っています。この研修は、安全かつ効率的な森林施業に必要な知識・技能の習得を目的としたもので、同署は国有林野をフィールドとして提供するとともに、技術指導を行っています。

令和4年度は、7月から12月にかけて、地拵、植付、下刈り、除伐、間伐について講義や現場での実習を行いました。間伐については、その目的や選木の方法、伐倒方法、かかり木の処理手順等について指導を行い、基本に忠実に作業することで労働災害発生リスクをなくすことの大切さを指導しました。

今後とも、フィールドの提供等により、地域の林業従事者の育成支援に取り組んでいきます。